

彩の国環境大学 公開講座

# 丸い地球で彩の国の環境 を考える



どうして地球は丸いのでしょうか。四角い地球だったらどんなことになったでしょう。こんな丸い地球上で生かされている私たち、彩の国の環境は暮らしやすいでしょうか。日本では、街でも、県でも、私たちは地球環境を考え、様々な努力をしています。その努力が結果として報われていることはあると感じていますか。

(PHOTOGRAPH BY NASA)

令和6年8月24日（土） 13：30～15：30

定員： 100名

場所： 埼玉県環境科学国際センター 研修室

講師

植松 光夫（埼玉県環境科学国際センター 総長）

1980年より米国ロートアイランド大学海洋学大学院研究員、北海道東海大学、東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター長などを経て2019年4月より現職。公益社団法人日本地球惑星科学連合から2020年度のフェロー称号が授与、国内外多数の学術賞を受賞。



